

連携美術館プログラム情報

入間市博物館 ALIT

SMF(サイタマミュージアムフォーラム)は、県内西部地区へも積極的にアウトリーチ活動を行っています。連携ミュージアムのひとつ、入間市博物館ALITでは、この夏2つのワークショップを開催します。

ひとつめは、入間市立中央公民館が市民と実行委員会を作り、22年間続けている子ども向けアートイベント「キッズ・アート・ギャラリー」への講師派遣です。

「キッズ・アート・ギャラリー」は、子どもたちが、好奇心や冒険心を持ち、遊び楽しむなかで芸術・アートに触れ、体験することで、子どもたちが本来持っている輝き、発想をより豊かに育みます。

また、中・高生の子どものみならずが企画・運営し、子どもたちの社会体験の機会を拡げます。そして、異年齢の子どもたちと大人が意見を出し合い作品を創り上げていく中で、互いに認め合い育ち合う場をつくります。という趣旨の元、事前募集した作品の展示と、当日会場で自由に参加できるワークショップ、そして定員制のワークショップで構成されています。今回SMFは定員制WSでアウトリーチを行います。(K.T)



「鑄造体験ワークショップ 型(カタ)を作って固(カタ)めよう」

7月30日(日) 13:00~15:00

場所: 入間市博物館 体験学習室

講師: 矢花俊樹(金工家、元埼玉県立近代美術館エデュケーター、SMF会員)

参加費: 500円

対象: 小学生以上の親子 12組

申込み: 7月5日(水) 9:00から直接入間市立中央公民館

〒358-0003 埼玉県入間市豊岡3-10-10

Tel.04-2964-2413へ

もうひとつは、ALITとSMF、そして、埼玉県立近代美術館でも実績のある「押忍!手芸部」の連携によるワークショップの開催です。

ALITは通称「お茶の博物館」。そして、押忍!手芸部部長の石澤彰一さんは「宗彰」の茶名を持つ裏千家の指導者でもあります。そんな縁も相まって今夏のワークショップへ繋がりました。

昭和の懐かしジョークグッズの一つである「笑い袋」。スイッチを押すとゲラゲラ笑う、アレです。その笑い袋を楽しくリメイクして人形「笑いぶく郎」に仕立てましょう!(K.T)

なつやすみワークショップ

ALIT/押忍!手芸部/SMF 「笑いぶく郎」をつくろう

8月5日(土) 13:00~15:00

場所: 入間市博物館 体験学習室

講師: 石澤彰一(アーティスト、「押忍!手芸部」部長)

参加費: 100円(当日集めます)

対象: 小学生以上20人(大人もOK)

申込み: 7月8日(土) 10:00から

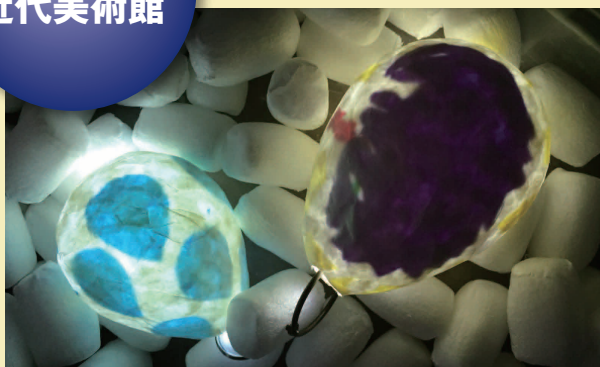
Tel.04-2934-7711(ALIT)へ

皆様のご参加をお待ちしています。



埼玉県立 近代美術館

たまごから、何が生まれる? トリ? ヘビ? 怪獣!? 身近な素材を切って貼って、光ると模様が浮き出る不思議なたまごを作ります。



埼玉県立近代美術館アート体感ワークショップ「MOMASのとびら」

SMF みる+つくる『光るたまごをつくろう!』

9月23日(土) 13:30~15:30

場所: 埼玉県立近代美術館3階創作室

講師: みやうか(アーティスト/SMF会員)

申込み: 応募受け付けは8月1日(火)から

埼玉県立近代美術館ホームページ

http://www.pref.spec.ed.jp/momas/?page_id=43

から申込書をダウンロードし必要事項をご記入の上、Fax.048-824-0118でお申し込みください。応募者多数の場合は抽選となります。(Y.S)



埼玉県立近代美術館では、土曜日に子どもや親子、大人も楽しめるワークショップを開催しています。SMFに関わり参加しているアーティストが講師となる、ちょっと特別なワークショップは、2018年2月にも予定しています。詳細は埼玉県立近代美術館ホームページや、MOMASのとびらチラシをご参照ください。